

【クルマのサステナビリティを支えるエコフレンドリー技術】 熱マネージメント、排気システム技術の最前線

— 講 師 —

マレリ株式会社 グリーン・テクノロジー・ソリューション事業本部

グリーン・テクノロジー・ソリューション・エンジニアリングセンター

センター長 本城 崇 氏

日 時 2025 年 6 月 11 日 (水) 午後 1 時 30 分～3 時 30 分
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2 週間、何度でもご視聴可)
会 場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋 2-6-2 ザイマックス西新橋ビル 4F

〔重点講義内容〕

2050 年カーボンニュートラル実現を目指し、自動車関連の技術は日々進化を遂げている。

この講演では、電気自動車をより使いやすく、快適にするために、限られた電気エネルギーを効率的に活用する熱マネージメント技術と、ハイブリッド車の排気を大気並みにクリーンにし、音を電気自動車並みに静かにする排気システム技術と、それぞれの主要なコンポーネントを紹介する。

加えて、これらの新技術をスピーディかつ高品質に開発するために必要な、精度よく「予測する」シミュレーション技術と、精度よく「計る」実験技術について解説する。

1. 2050 年カーボンニュートラル化実現に向けた世の中の動き

- (1) 規制、法政策の動向
- (2) 自動車業界の動き

2. 2050 年カーボンニュートラル化に必要な技術

- (1) 電気自動車の熱マネージメント技術
— 限られた電気エネルギーを効率的に活用し、より使いやすく、快適に
- (2) エンジン車、ハイブリッド車の排気システム技術
— 排気を大気並みにキレイに、音を電気自動車並みに静かに

3. 新技術創出に求められる開発力

- (1) 計る技術 — 実験計測技術
- (2) 予測する技術 — シミュレーション技術

4. 質疑応答／名刺交換

PROFILE 本城 崇 (ほんじょう たかし) 氏

1992 年 カルソニック株式会社入社、排気事業部の研究開発部門で実験業務を担当。2002 年 Calsonic Kansei North America, Inc. に排気システム実験のマネージャーとして出向。2006 年 帰国、カルソニックカンセイ株式会社の排気システム設計マネージャーに着任。2011 年 NAFTA 圏の原価低減業務のリーダーとして再度北米に赴任。2015 年 排気システム設計シニアマネージャーとして帰任。2019 年よりマレリ株式会社グリーン・テクノロジー・ソリューション事業本部排気システム製品開発ダイレクター、2022 年より同事業本部技術開発部門シニアダイレクター。2024 年より、排気システムに加え、熱マネージメントシステムの技術・製品開発を担当。

